

龍谷大学善本叢書33

中世国語資料集

藤田保幸 責任編集

▶ A5判・340頁／定価:本体17,400円(税別) ISBN978-4-7842-1912-4

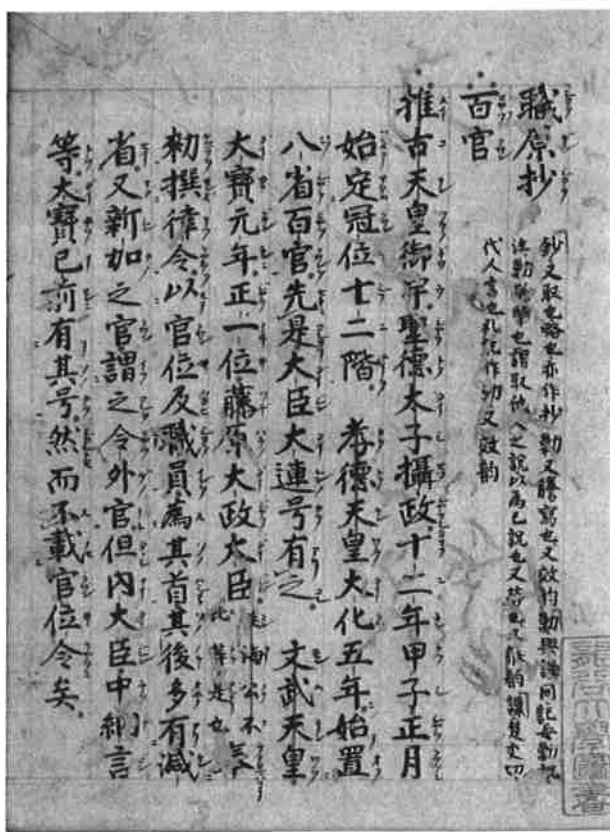
2017年10月刊行予定



異名尽



名目抄



職原抄 冒頭

《収録典籍》 職原抄／異名尽／名目抄

龍谷大学図書館所蔵資料より、国語学的に貴重な資料をえらび、カラ
一口絵・影印ならびに解説を収録。(解説：宇都宮啓吾／三宅えり／余田弘実)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行:思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	中世国語資料集	本体17,400円(税別)	ISBN978-4-7842-1912-4	
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

本書HPのQRコード



藤原道長事典 御堂関白記からみる貴族社会

大津透・池田尚隆編

藤原道長の日記『御堂関白記』に頻出の言葉をとりあげ、11の大分類に整理し、各ブロック冒頭には専門の執筆者による詳細な解説を収録。
【大分類】 政務・儀礼／官司・官職／道長をめぐる人びと／邸宅・地名／神事・神社／仏事・寺院／風俗・信仰／学問・芸能／衣食住／病と医療／御堂関白記の表現

▶A5判・462頁／本体6,000円

ISBN978-4-7842-1873-8

三条西公条自筆稿本 源氏物語細流抄

安藤徹責任編集

龍谷大学善本叢書25

龍谷大学大宮図書館所蔵の『源氏物語細流抄』は、三条西実隆の『源氏物語』講釈の聞書にもとづいて、子の公条が注釈書の草稿として作成したものと考えられ、三条西源氏学の歴史や『源氏物語』註釈史を考察する上で欠くことのできない貴重な資料。その影印と全文翻刻を収録。

▶B5判・706頁／本体28,000円

ISBN4-7842-1234-5

類聚古集 [全3冊]

秋本守英責任編集

龍谷大学善本叢書20

万葉集研究に不可欠の孤本『類聚古集』(国宝)を新撮によって全丁を完全収録し、原典の書写状態を完全に反映させた翻刻を影印と対照して併載。収録歌に通し番号を付し『国歌大観』(旧版)・『新編国歌大観』での番号も併記し、各句索引は本文のみならず朱書き・傍記・異本表記からも検索可能なもので逆引き索引も併載する。

▶B5判・総1800頁／本体57,000円

ISBN4-7842-1041-5

禁裏本歌書の蔵書史的研究

酒井茂幸著

禁裏本の総体を蔵書群として捉え、同時代の公家日記や古歌書目録類を援用しつつその伝来の歴史を跡付ける。また、禁裏における歌学や古典文学の注釈・講釈に注目し、古典学の変遷を叙述する。中世後期以降、歴代天皇がどのような歌書を求め、書写し、収蔵していったかを明らかにするのが本書の目的である。

▶A5判・344頁／本体5,600円

ISBN978-4-7842-1483-9

平家物語生成考

浜畑圭吾著

治承寿永の源平争乱という“歴史”を題材に、様々な“物語”——諸本を生成してきた編者たちの思惑とは、何であったのか。本書では、平家物語諸本の比較を通して独自の表現や記事、改変された部分をあぶり出してその基盤を追究し、物語生成の動機や場、背景をつぶさに考察する。

▶A5判・320頁／本体7,000円

ISBN978-4-7842-1769-4

名庸集 影印と解題 [全3巻]

中本大編

信多純一氏(志水文庫)旧蔵本の全丁とあわせて、『名庸集』の一部であった『燈分集』(国立国会図書館蔵)の影印を収録し、中世から近世初期にいたる文学史・歴史・美術史などの研究に資する。また、第3巻には編者による詳細な解題を収録する。

▶A5判・総1282頁／本体38,000円

ISBN978-4-7842-1708-3

典籍と史料

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書28

1961(昭和36)年、親鸞聖人大遠忌記念事業の一環として開設された、龍谷大学仏教文化研究所の研究者陣による、真宗学・仏教学・史学・国文学等の分野にまたがる広汎な仏教文化の最新研究成果。

【内容】『伊勢物語』業平時代の成立について／『統詞花集』考／社頭歌合の歌題構成と位署／和歌における『和漢朗詠集』の受容 他

▶A5判・686頁／本体8,500円

ISBN978-4-7842-1592-8

※中世の文学と学問

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書15

【内容】中世歌学秘伝の変容／木戸家流藤川百首注について／洞門抄物とそのことば／龍谷大学図書館蔵『俊頼口伝集』について／室町時代の句題和歌／枕草子の時空間／『夜の寝覚』における女君の行為「ふす」／章綱物語と増位寺／足利将軍邸の蔵書／中世末期から近世初期にかけての十三代集本文について／架蔵短冊資料点描 他

▶A5判・492頁／本体8,400円

ISBN4-7842-1271-X

中世歌書集

大取一馬責任編集

龍谷大学善本叢書31

龍谷大学図書館蔵、写字台文庫(西本願寺歴代宗主が収集した文庫で、仏教・芸能・歴史・医学・文学など多岐にわたり室町時代までさかのぼる古刊本や古写本のコレクション)旧蔵の歌書のうち、天下の孤本や最古の写本、内容上意義深いものなど貴重書と認められる5点の典籍を選び影印公刊し、解説を付す。

▶A5判・650頁／本体13,300円

ISBN978-4-7842-1688-8

詞源要略・和歌会席

大取一馬責任編集

龍谷大学善本叢書24

龍谷大学図書館写字台文庫蔵の旧舟橋家旧蔵本より、室町後期の清原宣賢(1475-1550)による自筆『詞源要略』(孤本)と『和歌会席』の2点を収録。『詞源要略』は和歌に関する分類体辞書、『和歌会席』は和歌作法書であり、歌学史・辞書史、また宣賢の学問の研究に有益なものである。

▶B5判・280頁／本体19,000円

ISBN4-7842-1196-9

四十人集 [全3冊]

家郷隆文責任編集

龍谷大学善本叢書18

平安～鎌倉期にかけての歌人41人の私家集を書写した40冊の叢書で、澄月や小澤蘆庵の門人らが書写し、さらに蘆庵による朱筆の校合・訂正が加えられ、伝本研究のみならず蘆庵の仮名遣いの訂正など興味深い史料。全冊を影印で収め、各冊に収録分の解説を併載。

▶A5判・総2100頁／本体48,000円

ISBN4-7842-0970-0

俊頼髓脳の研究

鈴木徳男著

『俊頼髓脳(としよりずい)』は、源俊頼の著した平安後期の歌学書で、豊富な内容はのちの歌論や説話集に多大な影響を与えた。本書は、先行歌書や歌学的知見の受容という観点からその構造を分析、さらに享受面を考察し、『俊頼髓脳』の和歌史的意義を浮き彫りにしたものである。付録として伝本の性格を検討した二論を加える。

▶A5判・300頁／本体8,000円

ISBN4-7842-1296-5

源平の時代を視る

二松學舎大学附属図書館蔵 奈良絵本『保元物語』『平治物語』を中心に磯水絵・小井土守敏・小山聡子編 二松學舎大学学術叢書
二松學舎大学東アジア学術総合研究所「二松學舎大学附属図書館蔵 奈良絵本『保元物語』『平治物語』の翻刻と研究」の軌跡と成果。

【内容】二松學舎大学附属図書館蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』の諸相／奈良絵本と軍記物語

▶A5判・278頁／本体4,800円

ISBN978-4-7842-1735-9

日本文学とその周辺

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書33

「龍谷大学図書館蔵中世歌書の研究」(平成23～25年度)において問題になった諸点や温めてきた問題の論文を、「文学篇」「書誌・出版篇」「歴史・思想篇」の三部構成にまとめた一書。時代や分野が異なった専門領域をもつ各研究員により、研究テーマの和歌文学にとどまらず、多岐にわたる内容の論文を収録。

▶A5判・626頁／本体8,400円

ISBN978-4-7842-1771-7

※日本古典随筆の研究と資料

糸井通浩編

龍谷大学仏教文化研究叢書19

龍谷大学図書館蔵所蔵している、日本の古典随筆に関する伝写本を悉皆調査した研究プロジェクト「古典随筆伝写本の研究」の成果。『枕草子』『徒然草』雨森芳洲『交隣提醒』についての研究論文7篇に加え、重要と思われる古典随筆伝写本5本を翻刻紹介する。

▶A5判・482頁／本体7,200円

ISBN978-4-7842-1349-8

中古中世和歌文学論叢

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書9

四十人集(龍谷大学図書館蔵写字台文庫旧蔵)を調査・研究する過程において各執筆者が新たに見出した研究テーマ—歌論書や歌合判詞、私家集、私撰集、古筆切など—を通して、中古中世の和歌の理念や特質、古代和歌受容の問題、さらには作品の成立や解釈にかかわる問題、新出資料の価値や散佚私家集を解明する問題に取り組む。

▶A5判・300頁／本体7,800円

ISBN4-7842-0983-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。